

融資条件や取引方針が決まる！？

金融機関による信用格付けについて

<信用格付けとは？>

銀行など各金融機関は、貸出先企業の決算書などに基づき、格付ランクを決定しています。そのランクによって、融資条件や取引方針が決まり、一般的には格付が上位のほうが有利な条件で取引できると言われています。

信用格付けのランクについて

信用格付は「貸出の可否」「貸出枠」「金利」を決め、企業にとっての利害に大きく関与するものです。

格付けにはおよそ10のランクがあり、5つの区分に分けることで、金融機関は「格付ランク」と「貸出金利」を連動させ貸倒れリスクに対応しているのです。



区分	ランク	概要
正常先	1	安全性は最高水準に達しており、財務内容も極めて良好と判断できる。
	2	安全性は高く、財務内容も良好。事業環境等が変化した場合、安全性が低下する可能性がある。
	3	財務内容は一応良好である。事業環境等が変化した場合、安全性が低下する可能性がある。
	4	財務内容は一応良好である。事業環境等が変化した場合、安全性が低下する懸念がやや大きい。
	5	現時点での財務内容は良好であるが、事業環境等が変化した場合、安全性が損なわれる要素がある。
	6	財務内容が先行き十分とはいえず、事業環境等が変化した場合、安全性が損なわれる可能性がある。
要注意先	7	業況、財務内容に問題があり、元本返済や利息未払いが事実上延滞している。
破綻懸念先	8	業況、財務内容に重大な問題があり、実質債務超過の状態に陥っている。
実質破綻先	9	法的、形式的な経営破綻の事実はないものの、債務不履行に陥る危険性が高い。
破綻先	10	すでに法的、形式的な経営破綻の事実が発生している。

格付けの点数のつけ方について

<定量的要因>

決算書(貸借対照表、損益計算表、キャッシュフロー表など)の財務分析の結果に点数をつけます。

<定性的要因>

業界の動向、業界内地位、経営能力、後継者の有無などに点数をつけます。

上記の「定量要因」と「定性要因」を合計した点数によってランク分けされます。

「定量要因」と「定性要因」は概ね8:2もしくは7:3のウェイトで評価されるため、決算内容が重要な判断材料となります。



～認定支援機関で対応できます～

- ・各種補助金申請
- ・経営改善計画書の作成
- ・創業支援
- ・優遇金利での資金調達 など

檜垣会計事務所(経営革新等支援機関)

TEL:06-6649-0677 FAX:06-6649-5220

〒556-0016 大阪府大阪市浪速区元町1-10-6 堤ビル